

小樽市過疎地域持続的発展市町村計画の進捗状況について（令和 5 年度）

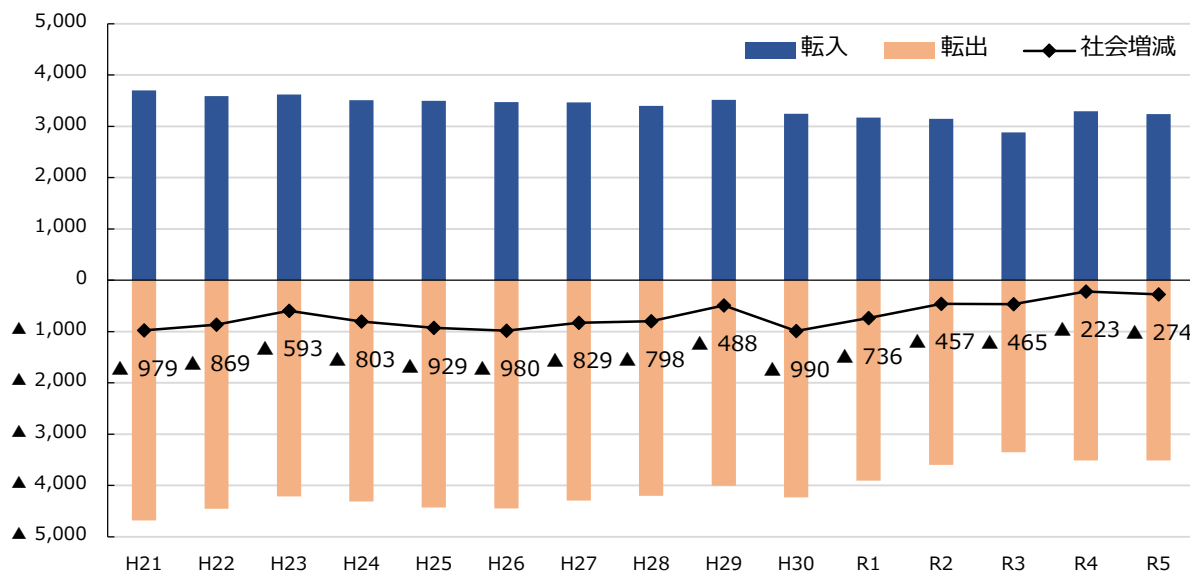
小樽市過疎地域持続的発展市町村計画は、令和 3 年 4 月 1 日に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき策定された計画です。本計画では、「社会減の抑制」を基本目標とし、実施すべき 12 の事項において「小樽ならではの価値＝地域特性・強み」を最大限に生かし、施策を総合的かつ計画的に展開することにより、地域の持続的発展を目指しています。

この度、本計画の進捗状況について、計画で設定した基本目標の達成状況や指標の動きを確認するとともに、計画推進に要した支出の状況を取りまとめました。

1 基本目標の達成状況

地域の持続的発展のための基本目標	転出の抑制と転入の増加による「社会減の抑制」
令和 5 年度における達成状況等の評価	本計画における指標の 1 つである「転出超過数」について、令和 4 年の 223 件に対し、令和 5 年は 274 件と微増となっていますが、基準値としている平成 21 年から 30 年までの 10 年間の平均 825 人に対し、計画策定年である令和 3 年以降の実績は 200 人台ないし 400 人台に減少しており、本市の人口動態は、社会減の抑制方向に進んでいるものと認められます。 一方で、いまだ転出超過の状況にあることから、転出の抑制に資する取組と移住促進の取組を一体的に進めるなど、今後とも地域の持続的発展のための各分野の取組を推進することで、引き続き社会減の抑制に努める必要があります。

（参考）平成 21 年以降の転入・転出者数の推移



※グラフ中数値の表記があるものは各年の社会増減数（▲は社会減＝転出超過）

出典：小樽市統計書

2 各事項の指標数値の変動状況

本計画を構成する「過疎地域持続的発展のために実施すべき12の事項」に設定している指標について、前回数値からの変動状況を事項ごとに取りまとめました。

なお、「⑨集落の整備」に関する事業については、まちづくりの視点から、「⑫その他地域の持続的発展に関し必要な事項」の中で扱う整理としています。

※今回数値確認ができなかった指標（隔年で実施している市民アンケート指標など）等、前回との比較ができない指標の数値は含めていません（全36指標のうち、今回対象は24）。

概要（変動状況別の主な指標例等）		状況別の指標数		
		前進	横ばい	後退
移住相談や企業設備投資支援、宿泊客延数や学校耐震化の関連指標等が前進、指定歴史的建造物や健康寿命の関連指標等が横ばいとなり、認定農業者や商店街の空き店舗の関連指標等が後退。全体のうち前進指標が6割程度となった一方で、後退指標が2割以下となりました。		15	5	4
状況別の指標数（事項別内訳）	① 移住及び定住、地域間交流の促進、人材育成	2	0	1
	② 産業の振興	4	0	2
	③ 地域における情報化	—	—	—
	④ 交通施設の整備、交通手段の確保	1	0	1
	⑤ 生活環境の整備	4	1	0
	⑥ 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	2	2	0
	⑦ 医療の確保	—	—	—
	⑧ 教育の振興	2	1	0
	⑨ 集落の整備（⑫参照）			
	⑩ 地域文化の振興等	0	1	0
	⑪ 再生可能エネルギーの利用の促進	—	—	—
	⑫ その他地域の持続的発展に関し必要な事項	—	—	—

※ 前回から数値が増加すれば「前進」、減少すれば「後退」、変動がなければ「横ばい」としていますが、指標の目指すべき方向性が数値減少である場合はその逆としています。

3 本計画の推進に要した支出額の内訳

本計画に掲載している事業について、令和5年度決算の支出額を「過疎地域の持続的発展のために実施すべき12の事項」ごとに取りまとめました。

過疎地域の持続的発展のために実施すべき12の事項	支出額
① 移住及び定住、地域間交流の促進、人材育成	30 百万円
② 産業の振興	2,884 百万円
③ 地域における情報化	36 百万円
④ 交通施設の整備、交通手段の確保	2,917 百万円
⑤ 生活環境の整備	4,490 百万円
⑥ 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	1,164 百万円
⑦ 医療の確保	544 百万円
⑧ 教育の振興	1,262 百万円
⑨ 集落の整備（⑫参照）	
⑩ 地域文化の振興等	210 百万円
⑪ 再生可能エネルギーの利用の促進	—
⑫ その他地域の持続的発展に関し必要な事項	834 百万円
合 計	14,371 百万円

指標一覧表

1 2の事項	指標	基準値		実績値		現行目標値	
				前回確認数値	今回確認数値		
①移住及び定住、地域間交流の促進、人材育成	転出超過数	825人	H21～30平均	470.3人(223人)	431.0人(274人)	576人	R1～7平均
	移住相談窓口を利用した移住人数	112人	H21～30合計	89人(25人)	142人(53人)	102人	R1～7合計
	国際交流に関心がある市民の割合	29.3%	R1	27.4%	—	基準値より増	R7
	市が指定する人材育成セミナーの受講者数	80人	H30	64人	58人	80人	R7
②産業の振興	認定農業者数	6件	R1	3件	2件	15件	R7
	小樽沿岸の漁獲量	3,853 t	H30	3,807t	3,838t	3,885 t	R7
	課税免除による支援を活用した設備投資件数	7件	H30	22件(3件)	31件(9件)	49件	R1～7合計
	中心7商店街の空き店舗率	14.0%	H30	21.7%	22.7%	11.2%	R7
	小樽市の宿泊客延数	957,100人	H30	882,600人	1,128,000人	1,197,100人	R7
	小樽港の年間取扱貨物量	1,307万トン	H30	1,135万トン	1,218万トン	基準値より増	R7
③地域における情報化	指標の設定なし						
④交通施設の整備、交通手段の確保	道路改良工事等で側溝や舗装などを新設又は改良する市道の整備延長	2km	H28～30平均	7.93km(1.41km)	9.40km(1.47km)	14km	R1～7合計
	除排雪等に対する「市民の声」件数	2,697件	H21～30平均	2,153.0件(2,292件)	2,247.4件(2,625件)	2,260件	R1～7平均
	バスの「運行頻度」「運行間隔」における不満足の割合	49.2%	H30	36.0%	—	基準値より減	R7
⑤生活環境の整備	上下水道に満足している市民の割合	61.4%	R1	62.3%	—	基準値より増	R7
	市民一人1日当たりの生活系ごみ排出量	470g/人・日	H30	474g/人・日	458g/人・日	438g/人・日	R7
	消防車両更新台数	—	H30	6台(2台)	8台(2台)	10台	R1～7合計
	災害に強いまちづくりができていると感じている市民の割合	17.4%	R1	13.0%	—	基準値より増	R7
	町会等が保有する街路防犯灯のLED灯への更新数	13,324灯	H30	14,084灯	14,106灯	13,757灯	R7
	管理不全な空家の解体件数	18件	H30	76件(22件)	90件(14件)	140件	R1～7合計
	公園やまちなかの緑に満足している市民の割合	43.1%	R1	38.2%	—	基準値より増	R7
	良好で快適な環境の保全が図られていると感じている市民の割合	27.7%	R1	19.3%	—	基準値より増	R7
	指定歴史的建造物の指定件数	79件	H30	79件	79件	79件	R7

12の事項	指標	基準値		実績値		現行目標値	
				前回確認数値	今回確認数値		
⑥子育て環境の確保、 高齢者等の保健及び 福祉の向上及び増進	各種保育サービスの延べ利用児童数	21,080人	H30	24,421人	26,482人	21,000人	R7
	介護予防事業などの高齢者サービスが 充実していると感じている市民の割合 (65歳以上の方がいる世帯)	38.4%	R1	31.0%	—	基準値より増	R7
	就労支援の利用者数	395人	H30	625人	680人	448人	R7
	困った時に相談できる人や場所がある 市民の割合	49.1%	R1	39.5%	—	基準値より増	R7
	健康寿命の延伸	男性79.08歳	H27	男性78.5歳	男性78.5歳	基準値より延伸	R7
		女性85.14歳	H27	女性82.4歳	女性82.4歳	基準値より延伸	R7
⑦医療の確保	安心して医療を受けられる環境が整っ ていると感じている市民の割合	38.7%	R1	37.1%	—	基準値より増	R7
⑧教育の振興	公立小中学校施設の耐震化率	小・中学校81.3%	H30	97.1%	100.0%	小・中学校100.0%	R7
	「市民大学講座、はつらつ講座、やんぐ すくーる、生活講座、老壮大学」の入 口に対する参加者の割合	2.0%	H30	1.5%	1.5%	2.1%	R7
	気軽にスポーツ・レクリエーションに親し んでいる市民の割合	23.1%	R1	31.9%	—	基準値より増	R7
	リーダー養成研修参加数	32人	H26～30平 均	22人	23人	32人	R7
	社会全体で男女平等となっていると感じ ている市民の割合	22.3%	R1	16.1%	—	基準値より増	R7
⑨集落の整備	「⑫その他地域の持続的発展に関し必要な事項」 参照						
⑩地域文化の振興等	文化財保存団体数	4団体	H30	4団体	4団体	4団体	R7
⑪再生可能エネルギー の利用の促進	指標の設定なし						
⑫その他地域の持続的 発展に関し必要な事項	中心部ににぎわいや商業・サービス機 能に満足している市民の割合	14.7%	R1	11.4%	—	基準値より増	R7

※数値減少を目標とする指標については、「現行目標値」の欄を網掛けにしています。

※現行目標値が「R1～7平均」又は「R1～7合計」となっている指標の実績値については、令和元年度以降の平均値又は合計値を記載しています（当該年度の単年度実績は下段にかきで記載）。